

令和 6 年度

第 1 回芽室町総合保健医療福祉協議会
保健・医療部会 会議録

日 時 令和 7 年 3 月 19 日 (水) 18 時 20 分から 19 時 15 分

場 所 芽室町役場 2 階 会議室 7

健康福祉課 保健推進係

◆ 会議次第

- 1 開会
- 2 健康福祉課長あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 部会長選任
- 5 部会長あいさつ
- 6 議題

第5期芽室町健康づくり計画の進捗状況について【資料1】

- 7 閉会

◆ 出席委員

家内 典夫
村上 哲也
野崎 美保子
齋藤 直裕
吉口 美喜子

◆ 欠席委員

研谷 智
廣江 英幸
太田 寛孝

◆ 傍聴人 0人

◆ 事務局

健康福祉課長	森 真由美
保健推進係長	吉川 泰子
保健推進係主査	中元 麻実
保健推進係主任	山本 かなこ

1 開 会 18 時 20 分

司会：中元主査

2 健康福祉課長あいさつ

森 真由美健康福祉課長

3 自己紹介

4 部会長選任

芽室町国民健康保険運営協議会 会長 村上 哲也委員

5 部会長あいさつ

芽室町国民健康保険運営協議会 会長 村上 哲也委員

6 議 題

以降、村上部会長による議事進行となる。

1 第4章 保健師策に係る計画

特になし

2 栄養・食生活

特になし

3 身体活動・運動

特になし

4 たばこ

質問) 9ページ、成果指標の表に（1は若年健診及び国保特定健診受診者のうちの割合）と記載があるが、どのくらいの人数が受診しているのか。

事務局) 令和6年度1月末現在で、男女合わせた受診者数は285名、そのうち喫煙者は74人。その中で若年健診での喫煙者が多い状況にある。

質問) 芽室町に40~64歳の方は何人いるか。285人のうちの26.0%と言われても確率が低いのではないか。資料にも記載があるように、電子たばこや加熱式たばこなど、若い人の喫煙者は増えていると感じる。健診だけではなく、他にアンケートを取る

方法はないのか。

事務局) 乳幼児健診に来ている保護者は若い年代の方が多いため、その方達の喫煙率はどのくらいなのか、芽室町全体の傾向とまではならないが、若い方の傾向を知るということでは参考になると思われる。

意見) 毎月 2 回乳幼児健診を実施し、アンケートで父母の喫煙状況を聞き取っている。毎月 30 人程度来ているので、年間 360 人くらいになる。健診の人数より多いため、参考にしてみるとよい。分母の数が多いほど信頼性は増していく。

事務局) アンケートの取り方については検討していきたい。

5 こころの健康（自殺対策策定計画）

質問) 成果指標にある「5 年間の自殺率」は 64 歳までのことを言っているのか。

事務局) 64 歳までではなく、芽室町全体での数字となっている。

質問) 自殺者数がその年によって変動することだったが、その年はどうだった等の状況はわかるのか。

事務局) 国から自殺者数や年代別の状況が提供されている。毎年の傾向としては、働き盛りの年代の男性が多い傾向にある。

質問) この方が自殺でなくなったというのはどこから情報が来るのか。

事務局) 警察や厚生労働省で集計をしており、毎年自殺者数等の確認をしている。

あくまでも数字なので、個人を特定できるものではなく、芽室町のどんな年代・性別でどのくらいいるのかという情報になる。

質問) この自殺率は芽室町の自殺者数と合致するのか。

事務局) 芽室町の自殺者数から計算されたものが国から提供されている。

人口規模が少ない自治体は自殺者数も少ないため、他の地域と比較する際に人口 10 万対で比較するため、提供されている。

質問) 芽室町の人口 1 万 7 千人を 10 万人に変えて計算したものが率になっているとなると、年間平均して自殺者数は 4 人くらいか。

事務局) 年間の変動はあるが、そのようになる。

計画に実数の記載があるが、人口 10 万対の自殺率の計算の元になっている自殺者数は、平成 29 年から 0 人、4 人、1 人、5 人、3 人と 5 年間で合計 13 人の自殺者数となり、その自殺者数から自殺率が計算されている。

質問) 健康相談を行って自殺者数が減ったということはわからないのか。うつ症状で相談に来てくれて、自殺を留まってくれたとか、そのまま自殺してしまったとか、把握は難しいのか。止めようがないところもある。

事務局) 把握することは難しい。

6 歯と口腔の健康

特になし

7 がん

質問) 22ページ、成果指標のがん検診の実績が23年度より全体的に少なくなっているが、原因は何かあるのか。

事務局) 24年度の実績は1月末現在の実績であるため、年度途中の実績となる。現在の予想では前年度と同じくらいの実績にはなるとは思うが、増加しているとは言えない。

8 糖尿病・循環器疾患

質問) 糖尿病の所見は年々減っているということでよいのか。

事務局) 芽室町の傾向として健診を受けた方は血糖が高い方が多い傾向。血糖だけではなく、血糖と血圧が高い、血糖と脂質が高いという方が多い。成果指標の実績4、「40～64歳の血糖コントロール不良者（HbA1c 8.0%以上）の割合（%）」は、第5期計画から成果指標に挙げている。実績値「男性 2.8%」は人数にすると3人。治療していない方もいて、その方達には訪問して受診を促している。さらに数か月後には受診の有無を確認している。

質問) 「HbA1c 8.0%以上」は相当ひどい数値。即入院という数値だが、治療していいない人もいるのか。以前にも受診をしていない方なのか。

事務局) 受診していたが、薬の飲み忘れがあった方がいて、訪問により数値が改善している。

9 感染症

質問) 30ページ、帯状疱疹ワクチンが定期接種になることが決まって、来年度から助成を考えているのか。

事務局) 令和7年度から助成を行う。広報や折込チラシで周知する予定。

質問) 生ワクチンと組み換えワクチンは選択できるようになるのか。

事務局) 選択できる。

質問) 年齢によって助成をする予定なのか。

事務局) 国の予防接種法に基づいた定期接種で、インフルエンザワクチンや新型コロナワクチンと同じような取り扱いになるが、対象年齢が異なっている。基本は65歳の方が対象で、5年間の経過措置として70・75・80・85・90・95・100歳の年度内年齢の方を5年間かけて対象にする国の方針となっている。芽室町も年度内年齢が65歳の方と節目年齢の方に個別通知を送付し、対象の方は接種の有無を検討いただき、医療機関で接種していただくことになる。

質問) 带状疱疹ワクチンが出てきたということは、新型コロナワクチンを打つことで帯状疱疹が増えたということなのか。

事務局) コロナの前から国では帯状疱疹ワクチンを定期接種化するかどうかかなり時間をかけて検討していた。コロナによって急に決まったことではない。

- 質問) コロナによって帯状疱疹が増えたのではないか。
- 事務局) 統計ではそのような情報もある。接種費用は、半額助成で準備を進めている。
- 生ワクチンと組み換えワクチンでは料金が大分違う。生ワクチンは1回約8千円、組み換えワクチンは1回約2万2千円を2回接種しなければならない。
- 意見) 帯状疱疹になって受診し、2割負担でも4万円はかかっていない。ワクチン打ったからといって罹らないというものではない。
- 事務局) ワクチンは発症予防と重症化予防である。
- 意見) 「罹らない」と言うのではなく、「重症化しない」と伝えていく必要がある。
- 質問) 組み換えワクチンは生ワクチンよりは効果の持続期間が長いというだけで、接種したらしばらく大丈夫ということでもない。本人がどう判断するか。
- 事務局) 生ワクチンや組み換えワクチンのそれぞれの効果の持続期間についても情報発信し、接種を検討いただきたい。

その他

- 意見) 色々な検診を町で実施して町民に勧奨しているが、自覚症状のない高齢者が検診を受診し、検診の結果にショックを受けて精神的な病気になった方もいた。検診の在り方はよく考えてほしい。
- 事務局) 特にかかりつけ病院のないような働き盛りの世代の方については検診をお勧めしていきたい。後期高齢者の年代の方へのご案内の際には、そのようなことも配慮していきたい。
- 事務局) 次回の部会は、令和8年3月頃、令和7年度の進捗状況の報告を行う。

7 閉会 19時15分